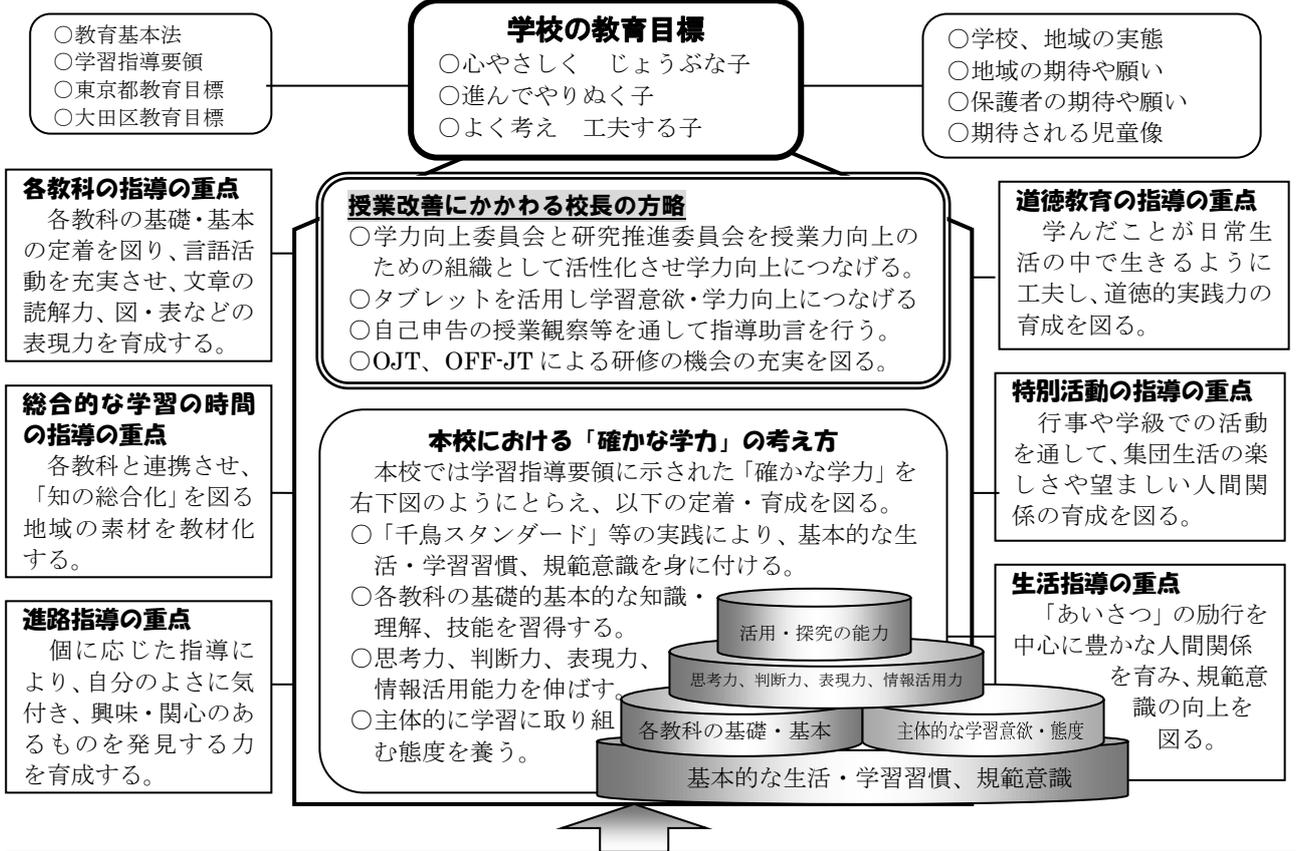


# 令和6年度 千鳥小学校 学力向上を図るための全体計画



授業改善に向けた視点				
教育課程編成上の工夫	指導内容・指導方法の工夫	評価活動の工夫	校内における研究や研修の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
<p>○各教科で、かかわり合う活動を取り入れ、コミュニケーション能力・表現力の向上を図る。</p> <p>○算数では1年生がTT、2年生以上が全単元で習熟度別少人数指導を行い、2(3)クラス展開の個に応じた指導を行う。</p> <p>○生活科や総合的な学習の時間は、地域の人的・物的素材を活用した指導計画を立て、実践する。</p> <p>○放課後の補習教室で算数の理解を深める。</p>	<p>○国語科を基盤とし、各教科で多様な言語活動を工夫し、読解力やプレゼンテーション能力等を育成する。</p> <p>○観察・実験・体験活動等を重視し、自ら課題と解決の見通しをもたせる。</p> <p>○経験を活かして考えを述べさせ、思考力・判断力・表現力の向上を図る。</p> <p>○学校図書館やタブレットPCの活用を進め、読解力・情報活用能力向上を図る。</p> <p>○日常生活と関連付けて指導し、実感から確実な理解の定着と活用を図る。</p>	<p>○教科毎の評価規準・基準を明確にした指導計画を作成。指導と評価の一体化を図る。</p> <p>○1時間の授業の最初に、その時間の学習課題を明示し、授業の終わりに振り返りを行う。</p> <p>○毎時間の授業の中で計画的に観点別評価ができるようにする。</p> <p>○算数では、個に応じた指導を充実するため、タブドリLiveを活用し、学力の定着度を把握する。</p> <p>○保護者会や個人面談で、評価の観点、方法、規準等について説明する。</p>	<p>○学力向上委員会では、東京ベシックドリルとステップ学習との効果的な併用を目指す。</p> <p>○校内研究では、研究授業ごとに講師を招聘し、協議を通して授業力向上を図る。</p> <p>○若手教員の学級経営や校務分掌の課題について、先輩教員が講師となって改善・解決を目指す機会を設ける。</p>	<p>○年度初めに学校経営方針を説明し、年3回の学校公開時には、授業改善の指標となる保護者アンケートを実施して評価する。</p> <p>○地域教育連絡協議会による自己評価への評価を受け、授業や次年度の教育課程編成に反映させる。</p> <p>○全校統一の「千鳥スタンダード」「家庭学習スタンダード」を徹底し、落ち着いた生活と家庭学習の定着を図る。</p> <p>○学校支援地域本部や保護者ボランティアによる学習環境の整備で授業充実を図る。</p>

